

中国での訴訟リスク軽減

現地の特許状況調査

中国での特許の出願状況 中国の特許調査会社である
を調べます。特許調査 インフォストラ(北京市)
会社のネットス(大阪市) の日本における総代理店と
藤本周一社長)は、中国に なり、日本企業からの発注
進出する企業向けに現地情 をインフォストラに取り次
報を提供するサービスを始め、それを受けて、インフ
めた。中国では特許出願の オストラの現地スタッフが
急増にともない、知的財産 中国語の特許情報を調査す
を巡る訴訟が頻発してい る。
る。進出前に把握できれば、 特許情報は記述が難解
訴訟に巻き込まれるリスク で、検索・分析には高度な
を減らせるといふ。 技能が欠かせない。ネット

ネットス、進出企業向け

スはインフォストラのスタ ッフを大阪に招いて研修さ
せるなどして支援する。中 国では知財を専門に手掛け
る調査会社が少なく、質の 高い調査サービスに対する
ニーズは大きいとみてい る。
世界知的所有権機関(W IPO)によると、中国は
2011年に国別の特許出 願件数で米国を抜き世界1
位となった。一方で外国企 業が特許侵害などで訴えら
れるケースも増えている。

近畿